

---

教育上の課題と工夫

2020-2021 年度新型コロナウイルス感染拡大の状況下で実施した教養科目・英語Ⅱの教育上の課題と工夫について報告する。後期に開講される英語Ⅱは医療英語をコアとして学習している。大学の授業方針による対面授業期間は eLearning を自宅学習し、反転授業で対面授業を実施した。遠隔授業へ切り替わった期間は eLearning を授業時間内に自宅学習し、その内容を評価対象とした。eLearning では 1) Listening, 2) Reading, 3) Vocabulary の 3 サブコースで構成されている。Listening は聴き取りと発話中心で、Vocabulary, Speed Listening, Dictation, Utterance Voice Recording, Role Playなどを学習する。Reading はスキルを通して読む速度を上げて、文全体の内容を把握できるよう Skimming, Vocabulary, Grammar, WPM (words per minute)の演習を行う。Vocabulary では、Online Flash Cards for Medical Vocabulary, Word Roots and Combining Forms, Spelling を学ぶことで綴りから意味を推測できるようになる。一方、反転授業では、2020 年度は Listening, Reading, Reading Comprehension を実施、2021 年度は Listening, Reading, Medical Vocabulary, Nursing English Conversation Work を行った。Listening は各指定 Unit を学習し Dictation で復習した。Reading は各指定 Unit を学習し、医療用語を中心に Vocabulary の復習と Writing で文法事項を確認した。Medical Vocabulary では医療用語の構成要素であるラテン語及びギリシャ語に由来する語の構成要素と、語根、連結母音、接頭辞、接尾辞のルールを学んだ。Nursing English Conversation Work では看護英語表現を Dialog 形式で Role Play, Quick Response を通して学んだ。eLearning を併用することで対面授業と遠隔授業のいずれにも対応が可能であったが、新型コロナウイルス感染予防策として LL 教室の学生数を半数に入室制限したこと、翌年度は様々な要因で LL 教室更新工期の遅延があり LL 機器の利用ができず演習量が減少したことで難しい授業展開であった。

---

With コロナに向けて

LL 教室の機材更新で座席数を約 40 名から約 20 名収容へ減らし、卓上幅と奥行きを広げ、ヘッドセット機器収納位置を変更するなど、今後に向けて十分な間隔を確保した。また、ミニモニターを各座席へ設置することでどの位置からもメインスクリーンの内容を確認できるようにした。対面授業では 20 名教育の実施、eLearning の充実、Zoom や対面でネイティブスピーカーによる演習量の確保を計画している。

---